

## 地域連携およびコミュニケーションの強化に関する情報

訪問看護における地域連携とは、病院や介護事業所など、「地域にある様々な医療機関が協力し、利用者が住み慣れた地域で必要な医療を受けられるようにすること」を指します。

ざいたくサポート木場も地域医療連携の一員として、病院や診療所、介護事業所などと連携し、利用者への切れ目のない支援を提供しています。

### 1. 多様な関係者と連携し、包括的な支援を提供

---

利用者さまが安心して自宅で療養生活を送れるよう、医療、介護、福祉、行政など、多様な関係機関と密接な連携を図ります

保健師、理学療法士、作業療法士、介護支援専門員、主治医、薬剤師、ケアマネージャー、行政担当者など、利用者さまに関わるあらゆる専門職と連携し、医療面、生活面、福祉面、社会面における課題を多角的に把握します。

### 2. 地域包括ケアシステムの推進

---

地域における在宅ケアシステムの情報を収集・共有し、地域住民の健康増進、病気の悪化予防、自立支援、安心・安全な療養生活の実現に向けて、積極的に取り組んでいきます。

地域包括支援センター、医療機関、介護事業所、行政機関などと連携し、地域全体の在宅ケア体制の強化に貢献します

### 3. 自己選択と自立支援を促進する情報提供

---

利用者さまやご家族が必要な情報を理解し、自己選択できるよう、わかりやすく丁寧な情報提供を行います。

治療内容、介護方法、福祉制度、地域資源など、様々な情報について、利用者さまやご家族のニーズに合わせた説明を行い、自立した生活を送るためのサポートを徹底します

### 4. 在宅ケアチームにおける協働体制の構築

---

在宅ケアチームの一員として、医師、理学療法士、作業療法士、ケアマネージャーなど、様々な専門職と連携し、利用者さま一人ひとりに最適なケアプランを作成・実行します。それぞれの専門性を活かし、効果的で効率的なサービス提供を目指します

### 5. 多職種連携の促進と専門職の研鑽

---

地域における多職種連携の促進に向けて、事例検討会やケアカンファレンスを開催します。これらを通して、各職種間の相互理解を深め、連携を強化します。また、専門職としての研鑽の場を提供し、質の高いケアの提供に努めます

## 6. 多様なサービスの活用と地域連携の強化

---

医療・介護以外のサービスについても、利用者さんやご家族に適切な情報を提供します。具体的には、ボランティア活動、市民活動、行政サービスなど、多様なサービスの活用を促進します。また、地域住民との交流イベントを開催するなど、地域との連携を強化します

## 7. 行政への提案と制度開発への働きかけ

---

地域における在宅ケアの課題解決に向けて、行政機関への提案を行います。具体的には、必要な制度の創設や改定を提案し、利用者さんやご家族が安心して暮らせる地域社会の実現を目指します

## 8. 効果的・効率的なサービス提供システムの構築

---

地域における医療・介護サービスの提供体制の改善に向けて、関係機関との連携を強化します。具体的には、情報共有システムの構築や医療 DX の活用などを検討し、利用者さまへ切れ目ない支援を実現します

## 9. 地域住民への医療・介護情報の提供

---

地域住民に対して医療・介護に関する情報を提供し、健康増進や疾病予防への意識を高めます。具体的には、講演会や健康教室を開催したり、Instagram 等の掲載を行ったりします

令和6年1月15日制定

ざいたくサポート木場